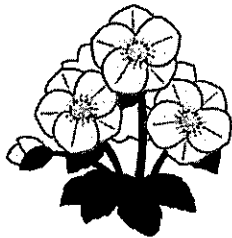


ら考える集団となってきた」と思える授業展開がのぞまれます。子どもたちの自由な発想はおもしろく、教師の予想を越える考えも出ることもあり、そのコミュニケーションを楽しむことが教師の醍醐味だとも思います。

今回、第67次福井県教育研究集会を、越前市において「『響心』〜響かせよう心に、響き合おう心で〜」のテーマのもと、開催させていただきました。本集会は、教職員やPTAなど、多くの方々のお力をいただいで創りあげています。どうか、多くの参加者の皆さんが教育への思いを語り合い共感し合うことで、明日の実践につながっていくことを心より願っております。子どもたちが主体的に学ぶ集団になってほしい、そのためにはどうしていくとよいのか、本研究集会がその解決への一助になることを祈念しています。



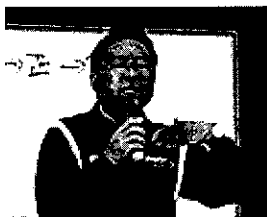
心に残る言葉がいっぱい!

満足度 96%
アンケート結果にて
満足・だいたい満足を選択

全体講演会

「キラキラ輝く夢を育てるステキな応援方法」

【講師】 つだつよし、さん (不登校児童生徒の心と学習の塾 ころも応援塾 代表)



テンポのよい話し方で会場中の参加者が直ぐに講師の話に引き込まれていきました。つださんは大分県で学校復帰をめざしたフリースクールを開いています。「おはよう!」は、いろいろな理由から元気が出ない子どもたちにする気を出させる魔法の言葉だそうです。「言葉や行動を変えていくと心が変わる。だから、魔法の言葉を365日かけてやる気を引き出す。」という話に思わず頷いてしまいました。

さらに、夢を叶えていく子には「自考力」「一歩力」「先言力」の3つの共通点があることを、ご自身の体験談を交えながら分かりやすく説明してくださいました。「目標を設定する際には、遠くの夢と近くの夢をセットにする。」「先生は子どもたちに根拠がなくても『大丈夫』と言って、自信をもたせることが大切。」「こんな、1つ1つの語りかけに普段の学校生活と照らし合わせて考えさせられました。

最後に「子どもたちは反抗期。聞いていないふりをして、先生の指導や親の言葉を貯金している。それは大事なときに出てくる。だから、あきらめずに指導しましょう。」という、つださんからのメッセージに会場中が共感しました。そして、心に響く講演に盛大な拍手が送られました。

まず、つださんの話を聴くための、心の準備体操をしました。



参加者の感想

- その気がなくても言葉に出すことで心が変わっていく…ぜひ、実行したいです。
- 子どもたちの貯金箱に少しでも何か入れられるように、子どもたちのために頑張っていこうと改めて感じました。
- さすが吉本の人! よく言葉が出てくるなとうらやましいなと思いました。人を引き込む話術、ぜひ身につけたいです。また、「大丈夫」という言葉を大切にしていきます。
- 子どもたちの心理から考える、夢や目標の実現の仕方について、ご自身の体験から楽しく勉強することができた。明日から、心がけ一つで変えられることもあるので、実践していきたい。